

授業科目	文化人類学	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
			2年次前期	1	講義	30時間
到達目標	1. 文化の多様性、普遍性を学ぶ。					講師
	2. 人間生活の歴史を学び、その変容を捉える。					外部講師
3. 生活環境と生活習慣により多様な価値観のあることを学ぶ。						
授業計画						
1回	自己紹介					
2回	人間と文化 人間の定義					
3回	ヒトと文明 出産の際のリスク					
4回	人間の言語の多様性 文化の特徴 文化の概念 文化人類学の特徴となる考え方					
5回	文化人類学の隣接領域 構造主義についての言語学 科学的研究 質的研究 エスノグラフィー					
6回	エスノグラフィー					
7回	個人・家族・家族をこえたつながり					
8回	家族 現代のさまざまな家族の様態					
9回	中間テスト 人間の生と死について考える					
10回	中間テストの解説 人生と通過儀礼					
11回	人生の通過儀礼					
12回	健康と医療 健康と文化 病気と治療					
13回	医療の体系 環境と適応					
14回	環境と適応 感染症					
15回	いのち／生命と身体					
評価方法	修了試験（50%）,中間試験（30%）,授業記録とレポート（20%）の割合を原則として総合して評価する					
教科書	系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 医学書院					
参考書						
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					